

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福島市こども発達支援センター			
○保護者評価実施期間	R8年1月15日		～ R8年2月10日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	R8年1月15日		～ R8年2月10日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	R8年2月20日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士、保育士等が多角的な視点で支援・評価を行っている。	訪問先の設備や物品からそのお子さんに合った対応方法を提案している。また、その提案が合っていたか確認し、発達状況に合わせて課題修正している。	今後も、訪問先の施設で効果的な発達支援が継続できるよう、支援内容を振り返りながら取り組んでいく。
2	児童発達支援から保育施設等への移行支援を丁寧に行うことができる。	随時圖と連絡をとり、お子さんの成長に合わせた支援内容を提案している。支援内容については毎回保護者に報告し、家庭での取組にもつなげている。	丁寧な取組を継続していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援と居宅訪問支援も実施しているため、支援できる件数に限りがある。また、職員の人数も限られているため、お子さんの体調不良等で延期になった場合など、次回の対応まで時間を要することがある。		1回1回の訪問を丁寧に対応し、地域のインクルージョンの推進に力を入れていく。